

2016年8月10日

四国電力株式会社  
取締役社長 佐伯 勇人 様

広島市中区大手町 4-2-27-403  
広島共同センター内  
さよなら原発ヒロシマの会  
共同代表 アーサー・ビナード  
同 青木 克明  
同 佐々木猛也

### 要請文

四国電力伊方原子力発電所3号機再稼働は直ちにやめて下さい。

貴四国電力の伊方原子力発電所3号機は再稼働に向けて最終段階にあると伝えられています。広島県民の多くはこれに対して大変な危惧を抱いています。

ひとたび過酷事故が起きれば、瀬戸内海を隔て遮るもののない広島県には大量の放射性物質が飛来します。そして瀬戸内海が放射能で汚染され長期にわたって留まり、まさに死の海となります。私たちは被曝したくありません。生活する土地を奪われたくありません。

とりわけ伊方原子力発電所は大地震が起きる可能性の高い場所に立地されています。すぐ北に日本最大級の大断層、中央構造線があり、その末端で熊本地震がこの春に起きました。南には大規模地震発生源である南海トラフがあり、高い確率で近い将来に巨大地震が起きます。

また佐田岬半島は地すべり地帯であり、地震により地すべりの発生が予想されます。道路が寸断され住民の避難は不可能です。原発事故の拡大を防ぐ手立てにも支障がでます。

このように伊方原子力発電所は極めて危険な立地条件で、その上、MOX燃料を使用しているため事故時の危険性を大きくします。再稼働はしないよう強く要請します。